

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 116 2019年8月

発 行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第 32 回秋季信頼性シンポジウム 発表募集のご案内 【追加募集】

- (日 時) 2019年11月11日(月) 10:00～19:00《時間は予定です》
(会 場) 一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル(杉並区高円寺南 1-2-1)
(主 催) 日本信頼性学会
(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会, 公益社団法人応用物理学会, 研究・イノベーション学会*, 一般社団法人電気学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会*, 一般社団法人日本機械学会, 公益社団法人日本経営工学会, 一般社団法人日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間工学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会, IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter 《*は予定です》

<特別講演>

題 目： 『技道』21世紀における“モノ作り”の基本(仮)
講演者： 谷口 芳夫(たにぐち よしお)氏(元日立製作所・理事・品質保証本部長)

<発表のおすすめ>

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思いますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思います。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

<推薦論文のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌への投稿を推薦いたします。推薦論文は、通常よりも短い期間で審査を行います(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があ

ります)。なお、今回のシンポジウムの推薦論文については、掲載可と判定された場合、掲載に必要な費用が免除されます。

＜予定セッション構成＞

1. 【組織、管理、規格、プロジェクト管理面】生産システム、組織改革、管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例。管理手法適用事例、人間信頼性、社会との関わり、または新手法。
2. 【試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面】部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析、物性（接続、接着、腐食、摩耗、疲労、マイグレーションなど）、全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. 【システムの信頼性、保全性、ライフサイクルおよびソフトウェア面】システムまたはソフトウェアの信頼性、保全性、ライフサイクルコスト、リサイクル、リユース、保全支援活動の設計、解析、保証事例・改善事例など。
4. 【安全性、リスク】産業安全、製品安全、リスク解析など。
5. 【データ収集、解析】情報システム・ネットワークのモニタ、遠隔・多量・自動データ計測、ノイズ解析など、高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術、新データ探索など。
6. 【理論、一般】基礎理論、数学的技法、モデル化と統計的解析など。

＜参加費と発表者の特典＞

[シンポジウム参加費] 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,500 円
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者（1名）は情報交換会にご招待いたします。

＜発表申込方法＞

申込方法 学会ホームページ <https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=110> の「発表申込書」に発表概要を記載の上、電子メールにてお申し込み下さい。
または、最終ページの発表申込書に記載して FAX にてお申込ください。

申込期限 2019年9月2日（月）まで **【延長いたしました】**

審査結果 2019年9月9日（月）頃までにご連絡いたします

発表原稿締切 2019年10月7日（月）ワープロでA4判4枚

お問合せ・申込先 日本信頼性学会事務局 〒166-0003 杉並区高円寺南 1-2-1（一財）日科技連内
TEL03-5378-9853 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会関西支部 2019 年度第 2 回見学会

日本信頼性学会関西支部見学会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

（日 時） 2019年9月25日（水） 15：00～17：00
（見学先） 独立行政法人製品評価技術基盤機構 国際評価技術本部 蓄電池評価センター
（NLAB（エヌラブ） National LABoratory for advanced energy storage technologies）
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 1-22-16
<https://www.nite.go.jp/gcet/nlab/index.html>

(集 合) 蓄電池評価センター正門前 14:50

(交 通) 大阪メトロ中央線・コスモスクエア駅2番出口より徒歩約10分

(概 要) 大型蓄電池システムの安全性等に関する世界最大規模の試験設備(NLAB(エヌラブ) National Laboratory for advanced energy storage technologies)を見学します。コンテナサイズの大型蓄電池システムの発火燃焼の危険を伴う試験、大型蓄電池システムの安全性試験(振動、外部短絡、落下試験等)を行うための様々な試験設備をご覧いただけます。また実際の試験映像のご紹介もあり大変興味深い内容となっております。研究開発や品質確認、認証取得などに活用されており、使用中には見学することができないため、数少ない貴重な機会となりますので、是非多くの方のご参加をお待ちしております。

- (内 容) 1. 施設概要説明
2. 施設見学(多目的大型実験棟, 機能別実験棟)
3. 試験事例紹介, 質疑応答

(参加費) 会員・学生: 無料 非会員: 2,000円

(募集人数) 20名

(申込方法) 学会ホームページ <https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=111> の申込フォームからご予約ください。

※1 会員番号(非会員の場合は“一般”と記入)、氏名、勤務先、連絡先(E-mail, TEL)を入力。

※2 不明な点があれば、下記問合せ先に連絡してください。

(申込締切) 2019年9月17日(月) ※募集人数に達すれば、早めに締め切ることがあります。

(問合せ先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [山田]
〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27 新藤田ビル11階
(一財)日本科学技術連盟 大阪事務所内
ht-yamada@juse.or.jp TEL06-6341-4627

日本信頼性学会 故障物性研究会 8月例会(第145回)

(日 時) 2019年8月30日(金) 13:00~17:00

(場 所) 日科技連 本部(西新宿) 新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階 Room-E

*地図 http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf

(東高円寺ビルではありません。お間違えのないようお願いいたします。)

(議 題)

- 13:00~13:20 1) 学会・実行委員会からの連絡事項
・新入会員の紹介, オブザーバの紹介
・連絡事項
・その他
- 13:20~ 2) プレゼン&議論
- 13:20~14:10 ①加湿試験の試験条件による影響性評価
(会員 楠本化成 廣岡知之氏)
- 14:10~15:00 ②(仮)重電機器メーカーである弊社における材料検証の紹介
(会員 日新電機 宇都宮里佐氏)
- 15:00~15:15 休憩
- 15:15~16:05 ③アレニウスの光と影

(会員 芝浦工業大学 二川清氏)

16:05～16:50 ④困り事相談ディスカッション

16:50～17:00 3) 今後の予定

- ・10月例会（第146回）2019年11月1日（金）日科技連 東高円寺
- ・その他

17:30～19:30 例会終了後、懇親会を開催します。皆さまのご参加を期待しております。

8月30日開催145回例会及び懇親会の出欠連絡は、8月21日（水）までに事務局宛にご連絡をお願いします。（reaj@juse.or.jp）

また、各種分科会への積極的な参加希望をお待ちしております。（hiroyuki.sato@advantest.com）

(問合先) 日本信頼性学会事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内

TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

Lcc (Life cycle costing) 研究会は Lcc に興味・関心があるという共通項を持ちつつ、信頼性工学、会計学など異なる専門分野やバックグラウンドを持つ10名前後の研究会メンバーで活動を行っています。年に5回ほど、原則として金曜日の夜に東高円寺もしくは西新宿の日科技連ビルに集まり研究会を開催しております。

2017年度からは、Lccの研究を進めるうえで有用と考えられる IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) の検討を開始し、研究成果を信頼性シンポジウム等で発表していく予定です。

私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています。現段階で日本信頼性学会の会員ではなくても研究会にご参加いただくことは可能です。Lcc 研究会に少しでもご関心がある方は、まずは下記のメールアドレスにご連絡をいただき、一度研究会の様子をご見学いただければ幸いです。ご連絡をお待ちしています。

(日 時) 2019年9月6日（金）18:00～20:00

2019年10月12日（土）13:00～17:00

(場 所) (9/6) 日科技連本部（西新宿）

*地図 http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf

(10/12) 東京都23区内で会場調整中

【ご注意】10/12に限り事前に参加登録が必要になるため、参加登録いただいた方には会場が確定次第、ご連絡いたします。ご参加をご希望の方は主査までご連絡ください。

(検討内容) IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) について、特にLife Cycle Costingとの関連を意識しながら検討していきます。

(連絡先) 研究会主査 中島洋行 - hiroyuki.nakajima@meisei-u.ac.jp

詳細は、https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 よりご参照ください。

第 41 回安全工学セミナー（化学品を扱うプロセスの災害防止）

- (日 時) 物質危険性講座 : 2019 年 9 月 5 日 (木)・6 日 (金)
危険現象講座 : 2019 年 10 月 1 日 (火)・2 日 (水)
プラント安全講座 : 2019 年 11 月 14 日 (木)・15 日 (金)
安全マネジメント講座 : 2020 年 1 月 27 日 (月)・28 日 (火)
- (主 催) 安全工学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 9 月・10 月・化学会館, 11 月化学会館 (予定), 1 月 機械振興会館
(募集人員) 各講座 30 名
(問合先) 特定非営利活動法人安全工学会
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル 6F
TEL03-36206-2840 FAX03-6206-2848 E-mail : jsse-2004@nifty.com
詳細は, <http://www.jsse.or.jp> よりご参照ください.

第 11 回知識構造化シンポジウム

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し, 再発防止・未然防止に有効活用する SSM による構造化知識マネジメントは, 多くの業種・企業で取り組まれています. 導入企業では, SSM 知識を活用し, デザインレビューの改善や FMEA, チェックリストなどの手法の強化といった様々な活動を進め, 設計品質を向上させています. また昨今では, 試験, 製造, サービスなどの業務に知識を活用し, 各業務の品質向上, ノウハウ伝承に役立てています. さらに未然防止に役立つ知識づくりの負担を軽減するための取り組みも進められています.

今回のシンポジウムでは, 設計や試験など様々な業務で SSM を実践している 3 社の取り組みについてご紹介します. 各社の講演を通じて, 導入中・導入検討中の皆様に役立つヒントをご提供します.

- (日 時) 2019 年 9 月 6 日 (金) 13:30~17:00
(主 催) 日本科学技術連盟
(後 援) 日本信頼性学会他
(会 場) 東京証券会館ホール (中央区日本橋茅場町 1-5-8)
(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営研修センター 研修運営グループ
TQM チーム SSM-S 担当 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1
TEL03-5378-1213 FAX03-5378-9842 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp
詳細は, <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms> よりご参照ください.

ソフトウェア品質シンポジウム 2019

ソフトウェア品質に関しては日本で最大級のシンポジウムで毎年各方面から注目を集めている SQiP シンポジウム.

「聞く, 考える, 話す」を基本コンセプトに, 一般発表のほか, 特別講演, テーマ別企画セッション, 基調講演, 併設チュートリアル (半日集中講座) など充実のラインナップでお届けします.

ソフトウェア品質シンポジウム (SQiP2019) への皆様のご参加を心からお待ちしております.

(日 時) 2019年9月11日(水)～13日(金)(11日は併設チュートリアルを開催)
(主 催) 日本科学技術連盟
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東洋大学白山キャンパス1号館(文京区白山5-28-20)
(問合先) 一般社団法人日本科学技術連盟 ソフトウェア品質シンポジウム2019 担当
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1
TEL03-5378-9813 FAX03-5378-9842 E-mail : sqip-sympo@juse.or.jp
詳細は, <http://www.juse.jp/sqip/symposium/?d1901> よりご参照ください.

センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2019 次世代センサ総合シンポジウム “社会活動の新生産性向上を目指して”

(日 時) 2019年9月11日(水)～13日(金)
(主 催) 次世代センサ協議会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東京ビックサイト 会議棟6F610号室(江東区有明3-11-1)
(定 員) 1セッション60名(各セッション定員になり次第, 締め切らせていただきます)
(問合先) 一般社団法人次世代センサ協議会 事務局
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F
TEL03-5294-2333 E-mail : office@jisedaisensor.org
詳細は, <http://www.jisedaisensor.org/2019week.html> よりご参照ください.

OR学会 2019年秋季シンポジウム(第81回)

(日 時) 2019年9月11日(水)
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東広島芸術文化ホールくらら(広島県東広島市西条栄町7-19)
(テーマ) ORの原点:理論と産業応用
(事前参加申込締切) 9月2日(月)
(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : oota@orsj.or.jp
詳細は, <http://www.orsj.or.jp/activity/symposium.html#a> よりご参照ください.

OR学会 2019年秋季研究発表会

(日 時) 2019年9月12日(木)～13日(金)
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東広島芸術文化ホールくらら(広島県東広島市西条栄町7-19)
(テーマ) 地方創生とOR

(事前参加申込締切) 9月2日(月)

(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail: oota@orsj.or.jp

詳細は、<http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a> よりご参照ください。

国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ第14回 コミュニケーション実践道場(その3)

(日 時) 2019年9月21日(土) 10:00~17:00

(主 催) 日本技術者教育認定機構, 日本工学教育協会

(会 場) 芝浦工業大学 豊洲教室棟4階 404教室

(テーマ) 研究室活動の効果的マネジメントを学ぶ—学生個々のタイプに合わせた指導の技術

(募集人員) 50名(先着順受付)

(事前参加申込締切) 9月11日(水)

(問合先) 一般社団法人日本技術者教育認定機構 事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館4階

TEL03-5439-5031 FAX03-5439-5033 E-mail: koho@jabee.org

詳細は、<https://www.jsee.or.jp/event/workshop> よりご参照ください。

No.19-35 講演会 第29回設計工学・システム部門講演会

2019年度の日本機械学会 第29回設計工学・システム部門講演会を宮城県仙台市東北大学流体科学研究所で開催します。東北地方での開催は2011年の山形以来8年ぶりになります。

2011年は東日本大震災が発生した年になります。あれからほぼ8年がたちますが、2018年11月現在でも5万人を超える方が避難所生活をされており、復興に向けた道のりはまだ道半ばと言わざるをえません。今回の講演会では、講演会前日の9月24日(火)に被災地をめぐるエクスカッションを企画しております。大規模自然災害に対する防災や災害後の復興に関して、設計工学・システム部門はなにができるのかと言う点に思いをはせることのできる講演会にしたいと考えています。

※復興の現状と課題については、復興庁の資料をごらんください。

本講演会のもう1つのキーワードとしては、「インタラクション」をあげたいと思います。本講演会では、産業界の研究者の皆様も参加しやすくなるように9月25日(水)から27日(金)の平日に開催することにいたしました。また、設計工学・システム技術の実利用に関する講演を積極的に募集したいと考えていますので、学术界の研究者はもちろんのこと、産業界の研究者の皆様も積極的にご参加いただけたらと思います。

また、本講演会は9月25日(水)から27日(金)のお昼まで開催いたしますが、9月23日(月)~24日(火)には同じ会場でiDECON/MS2019が開催されます。また、9月24日(火)午後はiDECON/MS2019と合同のエクスカッションが企画されています。さらに、27日(金)の午後からは同じ会場で進化計算学会主催の進化計算研究会(参加費無料)が開催されます。この週は9月23日(月)から9月28日(土)まで日程を確保いただき、異なる研究分野間のインタラクションもご堪能いただけたらと思います。

(日 時) 2019年9月25日(水)~27日(金)

(主 催) 日本機械学会 設計工学・システム部門
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 東北大学 流体科学研究所 (仙台市青葉区片平 2-1-1)
(問合先) 一般社団法人日本機械学会 設計工学・システム部門 (担当職員 上野氏)
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階
TEL03-5360-3505 FAX03-5360-3509 E-mail : ueno@jsme.or.jp
詳細は、 <https://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf19/> よりご参照ください。

第 80 回技術セミナー Q&A で学ぶ電子機器・部品の腐食評価と防食技術 —腐食防食の観点からグローバル化・環境規制・小型軽量化への対応を考える—

ICT 社会ではセンサから携帯端末や通信機器、サーバや制御機器、家電機器までさまざまな電子機器が使われています。これらの電子機器の腐食障害は稀にしか起きませんが一度発生すると対策に多大な費用と時間を要し、社会経済に影響を及ぼすことがあります。電子機器を取り巻く環境は、環境保護のためのグリーン調達の推進、利便性や快適性のための小型軽量化への要求、海外での生産や稼働機会の増大など大きく変わってきています。このような環境の変化により、これまで想定していなかった腐食障害が発生しています。電子機器・部品の腐食対策などの業務に携わっている者にとって、従来からの腐食問題に加えてこれらの新たな腐食問題を解決することが急務となっています。

今回のセミナーでは、腐食防食の観点からグローバル化・環境規制・小型軽量化への対応を考えます。まず電子機器・部品の腐食の「基礎」を学び、さらに「事例」で理解を深めていただきます。代表的な「エレクトロケミカルマイグレーション」に加え、新たな問題として注目されている「硫化腐食」をはじめさまざまな事例を取り上げます。テキストは「電子機器・部品の腐食防食 Q&A 改訂版」(2019 年 8 月刊行)を使用し、腐食業務に携わる方はもちろんのこと、電子機器・部品の開発・設計・製造・保守に携わる方々を対象に、電子機器の腐食の実際、環境の腐食性、腐食形態、腐食試験方法、防食技術について分かり易く説明します。是非、この機会に多数のご参加をお待ちしています。

(日 時) 2019 年 10 月 11 日 (金) 9:40~16:50
(主 催) 腐食防食学会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) きゅりあん (品川区立総合区民会館) 6 階大会議室 (品川区東大井 5-18-1)
(事前参加申込締切) 9 月 2 日 (月)
(問合先) 公益社団法人腐食防食学会
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-13-10 湯浅ビル 5 階
TEL03-3815-1161 FAX03-3815-1291 E-mail : naito-113-0033@jcorr.or.jp
詳細は、 <https://www.jcorr.or.jp/yotei/80.html> よりご参照ください。

第 5 回材料 WEEK

日本材料学会は材料に関わる広範囲の分野の研究者・技術者が参加する学会で、創設以来科学技術の根幹である材料分野において活発な活動を行ってきました。科学技術の発展には、知識・知恵の体系(学術)に関する情報交換が必須であり、学会はその学術交流の基盤インフラです。本会はこれまで情報交換の場として、5月の学術講演会ならびに部門委員会が企画するシンポジウム、講習会などを積極的に提

供するとともに、日本学術会議材料工学委員会との連携のもと開催されてきた材料工学連合講演会の主担当をしてまいりました。材料工学連合講演会は複数の学協会の橋渡しをする貴重な交流の場でありましたが、2014年開催を最後に終了となり、本会は、材料工学連合講演会の趣旨を引き継ぎ、新たに「材料WEEK」として開催するに至りました。材料WEEKは、ワークショップの開催とともに、学生の研究活動の一助としての若手学生研究発表会、本会部門委員会の企画によるシンポジウム、講習会ならびに公開部門委員会を一堂に会して行う企画です。材料学に関する幅広い知識の取得と他分野との交流の場として積極的なご参加を御願いたします。

(日 時) 2019年10月15日(火)～18日(金)

(主 催) 日本材料学会

(協 賛) 日本信頼性学会他

(会 場) 京都テルサ(京都市南区東九条下殿田70)

(問合せ先) 公益社団法人日本材料学会

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101

TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail : jimmu@jsms.jp

詳細は、<http://www.jsms.jp/kaikoku/5weekpro.htm> よりご参照ください。

第9回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム(JCOSSAR2019)

本会議は構造物の安全性・信頼性に関する諸問題について、専門領域を越えた幅広い研究発表および討論を通じて、当該技術レベルと学術の向上を図ることを目的に開催される国内総合シンポジウムである。主催は日本学術会議で、多くの関係学協会の共催・協賛を得て実施されるものである。

同一分野の国際会議ICOSSAR(International Conference on Structural Safety and Reliability)が4年ごとに開催されており、2017年にICOSSAR2017がオーストリア(ウィーン)で開催され、さらに2021年には中国(上海)にて次回が開催されることが決定されている。本シンポジウム(JCOSSAR)は、1985年に第4回目のICOSSAR'85が日本(神戸国際会議場)で開催された折に、この会議の中間年に国内シンポジウムを開くことが提案され直ちに実施することになり、日本学術会議主催のもとに第1回目が日本材料学会を幹事学会として1987年に日本学術会議で開催された。以来、この方針で1991年(土木学会)、1995年(日本建築学会)、2000年(日本機械学会)、2003年(日本材料学会)、2007年(土木学会)、2011年(日本建築学会)、2015年(日本機械学会)の順に継続的に開催され、このたび日本材料学会を幹事学会として2019年に本シンポジウムJCOSSAR2019を開催する運びとなった。

ここで対象とする構造物は機械、土木構造物、建築構造物、地盤、産業・エネルギープラント、海洋構造物、船舶、自動車、鉄道車両、航空・宇宙機器など多岐にわたるが、これらの構造物の安全性・信頼性に関わる共通の課題として、材料・構造部材・構造システムの信頼性理論、荷重の計測・評価、設計・製作・保守・管理、自然的原因による災害、人為的原因による災害、リスク評価と対策、保険・保証の取扱い等が、幅広く発表・討論の対象となる。とくに最近の学術的な研究成果だけでなく、産業界の現場における技術的実践に関する事例や技術開発に関する報告を大いに歓迎するものである。また、現時点で完結していなくても、現在進行中の研究や各種プロジェクトに関する中間報告も大変意義深く、幅広い研究発表と討論を期待する。

また、本シンポジウムにおいて、広範な分野の研究者・技術者が専門の枠を越え、相互に研究発表を行い、自由な討論と技術交流を通じて、構造物の安全性・信頼性確保に関する研究の推進や技術の向上が大きく前進するものと確信する。関係各位、多数の参加を期待する。

(日 時) 2019年10月23日(水)～25日(金)
(主 催) 日本学術会議 機械工学委員会
(後 援) 日本信頼性学会 他 22 学協会
(会 場) 日本学術会議講堂 他 3 室
(問合先) 公益社団法人日本材料学会 JCOSSAR2019 担当
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101
TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail : jcos2019@jcosar2019.jsms.jp
詳細は、 <http://jcosar2019.jsms.jp/index.html> よりご参照ください。

日本科学協会主催セミナー「未来をひらく 科学と倫理」

日本科学協会では、科学を宗教・倫理・芸術の 3 つの哲学テーマから考える科学隣接領域研究会を開催しております。

その成果を、研究者や研究者を取巻く皆様に、今知ってもらいたい、考えてもらいたい内容に絞り、「未来をひらく 科学と倫理」と題してセミナーを開催いたします。

前半では研究者が直面している倫理の問題を取り上げ、後半では先端科学分野「生命・AI・宇宙」の倫理について探っていきます。(科学隣接領域研究会 <https://www.jss.or.jp/ikusei/rinsetsu/>)

このセミナーを通して新たな科学研究者倫理と社会倫理のあり方を提起し、研究者の問題解決の一助となることを目指しております。未来に向けて倫理を見つめ直してみませんか。文理問わず、研究者の皆様にご出席賜りたく、お申込みをお待ちしております。

(日 時) 2019年10月26日(土)
(主 催) 日本科学協会
(会 場) 日本財団ビル 2F 第会議室(東京都港区赤坂 1-2-2)
(定 員) 100名(先着順事前登録制)
<https://fs221.xbit.jp/g229/form3/> よりお申込みください。
(参加費) 無料
(問合先) 公益財団法人日本科学協会 堀籠氏
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F
TEL03-6229-5365 FAX 03-6229-5369 E-mail: event@jss.or.jp
詳細は、 <https://www.jss.or.jp/ikusei/rinsetsu/ethics/seminar.html> よりご参照ください。

第 39 回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2019)

LSI 等のナノスケール構造を持った材料・デバイスのテストニング(テスト, デバック・診断, 物理解析) 技術を主たるテーマとするシンポジウムです。アブストラクトの査読が行われます。

(日 時) 2019年11月18日(月)～19日(火)
(主 催) ナノテストニング学会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) 国際ファッションセンター KFC Hall(東京都墨田区横綱 1-6-1)
(問合先) ナノテストニング学会 事務局 三浦氏, 御堂氏
〒565-0871 吹田市山田丘 1-5 大阪大学大学院 情報科学研究科 情報システム工学専攻

集積システム診断学講座内

TEL06-6879-7813 FAX06-6879-7812 E-mail : NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp

詳細は、 <http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/> よりご参照ください。

第 10 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム

第 10 回目となる本シンポジウムでは、電気学会センサ・マイクロマシン部門主催第 36 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム、応用物理学会集積化 MEMS 技術研究会主催第 11 回「集積化 MEMS シンポジウム」が同時開催されます。

また、エレクトロニクス実装学会との連携セッションも同時開催されます。マイクロ・ナノ工学シンポジウムに参加登録されますと、これらの同時開催シンポジウム、セッションの講演、行事に参加できます。

昨年度に引き続き、一般講演を全てポスター発表とすることで、マイクロ・ナノ工学部門はもちろん、他学会、他分野の研究者・技術者とのより一層密な交流ができる場となっております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

さらに、優秀な講演・ポスター発表を行った研究者の中から、日本機械学会若手優秀講演フェロー賞、優秀講演論文表彰、若手優秀講演表彰などを選考し、後日授与する予定です。皆様の積極的な論文投稿、参加をお待ちしております。

(日 時) 2019 年 11 月 19 日 (火) ～21 日 (木)

(主 催) 日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門

(協 賛) 日本信頼性学会他

(会 場) アクトシティ浜松 <https://www.actcity.jp/access/>

(問合先) 一般社団法人日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門 (担当職員 大通氏)

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階

TEL03-5360-3504 FAX03-5360-3507 E-mail : daitu@jsme.or.jp

詳細は、 <https://www.jsme.or.jp/event/2019-40750/> よりご参照ください。

第 36 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムは、センサ・マイクロマシン技術のさらなる発展を目標に、学・協会を超えた研究グループ間の情報交換、研究成果およびアイデアの討議の場として開催される、当該分野における日本最大のシンポジウムです。

会期中は、日本機械学会マイクロ・ナノ工学部門主催の「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」、応用物理学会集積化 MEMS 技術研究会主催の「集積化 MEMS シンポジウム」、化学とマイクロ・ナノシステム学会主催の研究会が同時開催されます。またエレクトロニクス実装学会との連携セッションも開催されます。本シンポジウムに参加登録すると、これらの同時開催シンポジウム・セッションにも参加することができます。

一般投稿に加え、魅力的な基調講演、テクニカルツアー、技術展示、研究者交流企画なども予定しております。皆様からの積極的な投稿とご参加をお待ちしております。

(日 時) 2019 年 11 月 19 日 (火) ～21 日 (木)

(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) アクトシティ浜松 <https://www.actcity.jp/access/>
(問合先) 「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局
株式会社セミコンダクタポータル
TEL03-5733-4971 FAX03-5733-4973 E-mail : sensorsympo_2019@semiconportal.com
詳細は、 <https://www.sensorsymposium.org/> よりご参照ください。

第 52 回安全工学研究発表会

(日 時) 2019 年 11 月 28 日 (木) ～28 日 (金)
(主 催) 安全工学会
(協 賛) 日本信頼性学会他
(会 場) アオーレ長岡 (長岡市大手通 1-4-10)
(問合先) 特定非営利活動法人安全工学会 事務局
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル 6F
TEL03-6206-2840 E-mail : jsse-2004@nifty.com
詳細は、 https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/7dcf6d6f17598aeebbe6793d7e40ebc5?frame_id=991 よりご参照ください。

The 9th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM2020)

(日 時) 2020 年 8 月 20 日 (木) ～23 日 (日)
(主催団体) APARM2020 実行委員会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(主会場) カナダ連邦, ブリティッシュコロンビア州, バンクーバー市
詳細は、 <http://www.aparm2020.org/> よりご参照ください。

2019 年度助成の募集開始および助成に関する個別相談会【三井物産環境基金】

三井物産環境基金は、近年、地球環境を巡る社会・経済の急速に変化している状況を捉え、長期的な社会課題の解決を実現し、持続可能な社会を作り上げる案件を積極的に助成するよう、昨年度より新たな選考基準・取り組みで助成案件の選定を開始しております。

2019 年度活動助成／研究助成に関して、募集が開始されましたことをご案内申し上げます。本年度につきましても、昨年度と同様の方針で募集を実施いたします。また、本年度は説明会は行いませんが、助成に関する個別相談会の開催を予定しております。

(応募締切) 2019 年 9 月 24 日 (火) 24 時
(申請方法) 申請書類は三井物産ウェブサイトからダウンロードしてください。昨年度までと異なり、申請書類は電子メールにて提出いただくよう変更となりましたので、募集要項をご確認ください。

(2019 年度助成に関する個別相談会)

以下の URL よりご確認ください、ご希望の場合はメールにてお申込み下さい。

https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/environment/fund/application/document/kikin_kobetsusou dan.pdf

(問合せ先) 三井物産環境基金事務局

TEL03-6858-3250 (活動助成) E-mail : 19MEF-KatsudoTKAES@mitsui.com

TEL03-6858-3218 (研究助成) E-mail : 19MEF-KenkyuTKAES@mitsui.com

※個別相談会へのお申込み及び申請書の提出先は、上記とは異なるアドレスとなります。

詳細は、<https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/environment/fund/index.html> よりご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 本部 (西新宿)	2019/8/30		https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72
第 41 回安全工学セミナー (化学品を扱うプロセスの災害防止)	化学会館 機械振興会館	2019/9/5-6 2019/10/1-2 2019/11/14-15 2020/1/27-28		http://www.jsse.or.jp
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 本部 (西新宿)	2019/9/6		https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45
第 11 回知識構造化シンポジウム	東京証券会館ホール 中央区	2019/9/6		http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms
ソフトウェア品質シンポジウム 2019	東洋大学白山キャンパス 文京区白山	2019/9/11-13		http://www.juse.jp/sqip/symposium/?d1901
センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2019 次世代センサ総合シンポジウム “社会活動の新生産性向上を目指して”	東京ビックサイト 江東区	2019/9/11-13		http://www.jisedaisensor.org/2019week.html
OR 学会 2019 年秋季シンポジウム (第 81 回)	東広島芸術文化ホール 東広島市	2019/9/11		http://www.orsj.or.jp/activity/symposium.html#a
OR 学会 2019 年秋季研究発表会	東広島芸術文化ホール 東広島市	2019/9/12-13		http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a
国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ第 14 回 “コミュニケーション実践道場 (その 3)”	芝浦工業大学豊洲教室 豊洲	2019/9/21		https://www.jsee.or.jp/event/workshop
2019 年度助成募集【三井物産環境基金】			9/24	https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/environment/fund/index.html
No.19-35 講演会 第 29 回設計工学・システム部門講演会	東北大学流体科学研究所 仙台市	2019/9/25-27		https://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf19/
<u>関西支部 2019 年第 2 回見学会</u>	(独) 製品評価技術基盤機構 大阪市	2019/9/25		https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=111
<u>2019 年度第 1 回見学会</u>	労働安全衛生総合研究所 清瀬市	2019/10/10		(近日掲載)

腐食防食学会第 80 回技術セミナーセミナー Q&A で学ぶ電子機器・部品の腐食評価と防食 技術	きゅりあん 6F 品川区	2019/10/11		https://www.jcorr.or.jp/yotei/80.html
<u>Lcc 研究会</u>	東京都 23 区内の会場に て調整中	2019/10/12		https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45
第 5 回材料 WEEK	京都テルサ 京都市南区	2019/10/15-18		http://www.jsms.jp/kaikoku/5weekpro.htm
ANQ Congress 2019	The Berkeley Hotel Pratunam バンコク, タイ	2019/10/23-24		
第 9 回構造物の安全性・信頼性に関する国内シ ンポジウム (JCOSSAR2019)	日本学術会議 港区	2019/10/23-25		http://jcossar2019.jsms.jp/
日本科学協会主催セミナー 「未来をひらく 科学と倫理」	日本財団ビル 港区赤坂	2019/10/26		https://www.jss.or.jp/ikusei/rinsetsu/ethics/seminar.html
<u>2019 年度第 1 回フォーラム「人工知能 (AI) 技術の信頼性・安全性への活用と課題」</u>	日科技連 東高円寺ビル	2019/10/29		(近日掲載)
日科技連 2019 クオリティフォーラム	日本教育会館 千代田区	2019/10/31-11/1		https://www.juse.jp/quality_forum/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 東高円寺ビル	2019/11/1		https://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72
<u>第 32 回秋季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 東高円寺ビル	2019/11/11		https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=110
第 39 回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2019)	国際ファッションセン ター/墨田区	2019/11/18-19		http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/
第 10 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム	アクトシティ浜松 浜松市	2019/11/19-21		https://www.jsme.or.jp/event/2019-40750/
第 36 回「センサ・マイクロマシンと応用シ ステム」シンポジウム	アクトシティ浜松 浜松市	2019/11/19-21		https://www.sensorsymposium.org/
第 52 回安全工学研究発表会	アオーレ長岡 長岡市	2019/11/28-29		https://www.jsse.or.jp/
日科技連 第 109 回 品質管理シンポジウム	大磯プリンスホテル 大磯	2019/12/5-7		https://www.juse.jp/qcs/
Symposium in Reliability Theory and Industrial Statistics	The Hang Seng University of Hong Kong, 香港	2019/12/12-13		
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連	2019/12/13		
<u>故障物性研究会</u>	日科技連	2019/12/20		
The 9th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM2020)	Vancouver Canada	2020/8/20-23		http://www.aparm2020.org/

日本信頼性学会 第32回秋季信頼性シンポジウム
発表申込書

(申込期限 2019年9月2日)

申込日 2019年 月 日

題 目				希望 セッション (○印)	1	2	3	4	5	6
発表者 (登壇者○印)										
勤務先										
連 絡 先	氏名				会員番号					
	勤務先									
	所在地	〒								
	e-mail:									
	TEL	()	—	FAX	()	—				

発表の概要